

2026年(令和8年) 最も寒くなる2月 体調管理にお気をつけてください!

# 壬生川公民館だより

〒799-1341 西条市壬生川200番地  
TEL・FAX 0898-64-2202  
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp



## 二十歳の門出を祝し

1月11日(日)、丹原文化会館で、東予・丹原・小松地域の方々を対象に「西条市二十歳の集い」が開催されました。暴風でとても寒い日でしたが、会場は希望に満ちあふれる若者たちの熱気に包まれていました。

対象は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれで、愛知万博(愛・地球博)が開催された頃に生まれた方々が二十歳を迎えるました。

### 師走のコートで熱戦!「白鷺杯」



皆で声をかけ合い、最後まで諦めず、どこまでもボールを追いかける姿に感動!



優勝「すいとぴー」チーム 準優勝「オリーブ」チーム 第3位「とーたす」チーム

### 「地域未来塾」で学習習慣を!



学習習慣の確立と、基礎学力の定着を目的に、地域の教員OBの方々のご協力を得て、今年度も『壬生川地域未来塾』を開講しています。対象の5年生の子どもたち、非常に熱心に取り組み、学習意欲を益々高めているようです。

### みんなで「クリスマス会」



12月20日(土)放課後子ども教室と青少年健全育成協議会との共催で、「クリスマス会」を開催しました。

お菓子を重ねて、ツリー型のケーキを作った後は、bingoゲームで、ヒートアップ! 楽しい時間を過ごしました。



### 「放課後子ども教室」



#### 12/13(土) AGO あそぼ

カードに英字を書く練習をしました。  
ゲームや、ダンスで、身体を思いっきり使って楽しく英語を学びました。

ひうち句会		(順不同)
さりがたし音なき風の冬桜	かねいがむら	ひなた
寒梅や老ひには老ひの心意気	かんばい	ひなた
しげるるや矢竹で囲ふ武家屋敷	しげるるや	ひなた
丸山 矢野 悅子	丸山 矢野 悅子	ひなた
岡部 和代	岡部 和代	ひなた
稻井 宏子	稻井 宏子	ひなた
卓機	卓機	ひなた

## 民生児童委員は令和7年12月1日に一斉改選しました。

壬生川地区民生児童委員は、下記のとおりです。

民生児童委員は、守秘義務があるので相談内容や個人情報が漏れることはありませんので、安心してご相談ください。  
詳しい内容は、[市広報誌2月号](#)及び[市ホームページ](#)をご覧ください。

氏名	担当区域
越智 久美子	大正通り南・本河原上・中河原上・新地西半分・蛭子町上・大和会・学校前附近
山内 直樹	栄町(鉄道線路西)・円海寺(新川より南)・平和通・一番町
稻井 仁美	大新田・若杉会
太田 大貴	本河原下・新地東半分・中河原下の一部・鷺の森
稻井 由美子	北星1・2・ナショナル住宅・茨ノ木・出作・市ヶ坪・若葉団地・稻井住宅・幸町・大新田住宅
秦 新一	茨ノ木南北・大正通り北・柳新地・川新田
木原 謙	喜多台・旭・新川マンション・グランソレーユ・青野自転車附近
大澤 誠一	本町上・下・中河原下の一部・蛭子町下
近藤 良定	明理川・円海寺(新川より北保内神社前)
矢野 慎治	主任児童委員
森山 昌美	主任児童委員

【問い合わせ先】 生活福祉課 総務福祉係 Tel0897-52-1288

~毎月10日は人権を考える日~

### 愛のある言葉で

西条市立西条南中学校 2年 杉原朋  
(杉原朋さんが1年時に書いた人権作文)

今年の夏、四年に一度世界中が盛り上がるオリンピック・パラリンピックがパリで開催されました。しかし、多くのアスリートが華々しく活躍する裏で、悲しい出来事がニュースになりました。それは、SNSを使って選手や審判に対して誹謗中傷の言葉が投げつけられていたことです。一人や二人の話ではなく、多くのアスリートや運営に携わっている方が、その言葉により傷付けられました。このニュースを聞いて、私はどうしてそんなにも簡単に酷い言葉を全世界に発信することができるのだろうと不思議に思いました。

私が一番多く見かけたコメントは、男子バレー選手に対する誹謗中傷でした。私自身が、バレー部に所属していることもあり、どの試合も応援していました。だからこそ、納得のできないコメントがたくさんありました。オリンピックが始まる前から、注目を浴びている選手が多くて、勝利まであと一点という場面で、ミスをした選手に対し、「大事なところで失敗したらダメでしょ。」というコメントがたくさんありました。でも、「攻めにいった結果だ。」という人もいます。両方の意見を見ていて、世の中にはバレーを経験したことがない人は山のようにいるということに気が付きました。人はそれぞれ、経験値も違えば考え方も違います。だからと言って、一生懸命頑張っている人に対して酷い言葉をかけていいという訳ではありません。他のスポーツや出来事でも同じです。その競技のことやその選手たちがどれだけ頑張ってきたかを知らないのに、簡単に人をけなしたり傷付けたりすることは間違っています。オリンピック選手も人間です。そして、オリンピックに出場している選手は誰よりも努力してきた人たちです。そして、誰にでも失敗があります。昔からアスリートに対して酷い言葉を投げつけるようなことがなかったわけではありません。現在、それがSNSで可視化され、ずっと残ってしまい本人に届いてしまうようになりました。有名人や著名人になら、誰が言ったかもすぐにはばれないし、酷い言葉をぶつけても大丈夫という誤った考えを持つ人も少なくありません。そういう考えをなくしていかなければ誹謗中傷による事件はなくなるないと

他にも、女子ボクシングでは性別を巡る問題により攻撃の対象になってしまった選手がいました。私もその話を聞いて、戸籍上は女性でも体格が男性のままで戦う相手が怖いと思ってしまうのは仕方がないことなのではと思いました。実際に、怖くなり棄権した選手もいたそうです。攻撃の対象となった選手は、インタビューで「私は誰に何と言われようと女よ。」と宣言していました。その選手もこれまでずっと誹謗中傷されながら必死に女性として戦ってきたんだと知りました。女子ボクシングの性別問題は、オリンピック前から議論があり、勝手に性別について公表されるなどプライバシーの侵害でも問題視されています。女性であることを否定するような考えがSNSで流れることで女性差別につながり、また、トランスジェンダーの方に対する差別にもつながっています。その選手が、ボクシングをしながら、辛い思いをして頑張ってきたことを知ると、私はいろいろなことが難しく感じて周りの私たちがしっかりと考えなければならないと感じました。

誰にでも文句を言ったり、意見を言ったりする権利はあります。でも、不特定多数の人に見られるSNSに書き込んで人を傷付けて何になるのか、私は疑問に感じます。この言葉を発したら、相手や周りの人人がどう感じるのかを考えて言葉を選ぶ必要があると思います。ただ、客観的に見れば中傷になる言葉も、立場が違えば、正当な考えだと思う人もいます。そんなことを考えると、より言葉を選ぶ必要があると感じました。言葉は便利なのですが、時に刃となります。自分の口から出ている刃物を相手に向けたときに、どれくらい相手にダメージを与えるのか。それを考えて言葉を選ぶべきです。有名人でも誰でも、同じ人間だから、酷いことを言われたら傷付きます。これからは、それを意識して言葉を使ったら嫌な気持ちになる人はいないかななど、言葉を見直して発信することが大切だと思いました。パリオリンピック・パラリンピックで誹謗中傷の対象になった選手には、これからも負けずに堂々と戦ってほしいと思いました。日本バレー協会の人が、「選手たちを愛のある言葉で応援してください。」と訴えかけていました。世界中から誹謗中傷の被害で苦しむ人がいなくなること、SNSや世界中の人たちが発信する言葉が愛のある言葉であふれることを願っています。

出典:「令和6年度 人権意識を高めるための作品集」からの人権作文(西条市・西条市教育委員会・西条市人権教育協議会)  
西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課